

一 般 質 問 通 告 書

令和5年2月1日

議 会 議 長 様

議席番号 3 番

議員氏名 宮 田 雄 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 泉地区の地域 活性化対策は	子育て世代移住定住推進事業において、泉地区への移住者は0世帯であった。立地適正化計画「コンパクト・プラス・ネットワーク」においても、泉地区は居住誘導地域ではない。今後学校再編も行われ、さらに状況は厳しくなると考えられる。泉地区の将来を考え、地域活性化対策について、以下伺います。 (1) 宅地＝土地の狭さが使い勝手、資産価値を下げる要因となっている。隣地を取得しやすい環境作りは土地ひいては地域の価値を上げ、空き家などの減少につながるものと思われる。資産価値や使い勝手向上対策として、土地の流動化を推進すべきと考えるが、見解は。 (2) 買い物難民などと言われて久しいが、現在は移動販売が大変充実している。キッチンカーや移動スーパーにとどまらず、マッサージやアパレルまで多岐にわたる。 このような移動販売事業者が参入しやすい環境・機会を創り出すことが、地域の活性化や住みやすさ、ひいては杉戸町のイメージアップにつながるものと考え、見解は。 (3) 新たな賑わいの創出として、産業団地の企業にご協力頂き、アウトレット商品販売等のイベントなどの開催が考えられるが、見解は。	町長 副町長 教育長 総合政策課長 危機管理課長 産業振興課長 教育次長 担当課長

2月 1日 午前・午後 4時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(4) 江戸川の河川敷は牧草地、野球場、ラグビー場などに利用されているが、川そのものは未だ活用されていない。大落古利根川ではカヌーやSUPなどが実施されていることを鑑みると、江戸川では種類の違うアクティビティが可能だと思われる。国・県と連携することにより、新たな賑わいが創出され则认为るが、見解は。 (5) 3年後学校統合により東中学校は跡地となり、大きな地域資源として残される。この跡地について、今後どのようなスケジュールでその活用方法を考えていくのか、見解は。	